



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.7

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との闘いは、例年より遅れている梅雨明け間近になっても、しばらく続きそうです。婦人会では、COVID-19と上手につき合うためにさまざまな活動を実施しています。

そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介します。

<熊本県健康を守る婦人の会（人吉・球磨支部）>

熊本県球磨郡あさぎり町は、7月4日から降り続いた豪雨により、甚大な被害が出ましたが、7月10日現在人的被害はなかったと報告されています。

6月から公立学校の一斉登校が始まるのを前に、マスクを作成（写真1）し、5つの小学校に配布しました。

緊急事態宣言発令中は、マスクを買いたくてもどこにも売っていない状況がありました。児童がマスクをしていない（マスクを持っていない）状況を知った会員から自発的にマスクを作ろうと始めました。

その時は、マスクに必要なゴム紐や布も不足していて、一から手作りすることになりました。ストッキングをゴム紐に代用したり、端切れは各家庭から持ち寄ったりして材料を集めました。3密を避けて、研修室を4日間借りました。3～4人で午前10時から午後3時までの4時間活動しました。ミシンを掛け、ゴムを通してなんとか950枚を完成させました。気の遠くなる作業でしたが、子供たちの安全を思い、気持ちを奮い立たせました。



■免田婦人会

こんにちは！免田婦人会です。

令和2年3月末より5月前半まで、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、免田婦人会の活動を自粛しており、3月に予定していた総会も書面議決を行うこととなりました。

5月12日に、令和2年度の初支部長会を行うことができ、“今年度も明るく楽しい活動にしましょう！”と尾曲会長からのあいさつがあり、今年度の活動がスタートしました。

また、5月8日には、あさぎり町内の小学校に、あさぎり町婦連会員で作成した手作りマスク900枚を贈呈しました。

児童の皆さんが、健康で安全に学校生活が送れるようお願いを込めて手作りました。



広報あさぎり 2020.7 18

写真1 あさぎり町の広報誌に奮闘する会員の写真が掲載されました

<https://www.town.asagiri.lg.jp/q/aview/66/14181.html>

できあがったマスクを、活動に参加したボランティアとともに教育長と校長先生に無事手渡することができました（写真2）。

材料集めも含めると、マスクが完成するまでに2週間かかりましたが、今までと違う生活様式のためには、必要な時間だったと思います。今後も小さな疑問やきっかけを見つけては、何が必要なのか、何ができるのかを考え、婦人会活動を進めていきたいと考えています。

あさぎり町地域婦人会連絡協議会の皆さま

新型コロナウイルス感染症に負けずに楽しい小学校生活を送ってほしいとの思いから、あさぎり町地域婦人会連絡協議会の皆さんが手作りしたマスク951枚を町内の全小学校の児童に寄贈しました。

思いのこもったマスクをありがとうございました。



写真2 あさぎり町のホームページにも紹介されました

<https://www.town.asagiri.lg.jp/q/aview/902/14501.html>